

ナツメ

【 *Ziziphus jujuba* v. *inermis* 】

科名 クロウメモドキ科

属名 ナツメ属

薬効・用途

実（大棗 タイソウ）は、強壮・鎮静作用があり、葛根湯、甘麦大棗湯、小柴胡湯などの漢方方剤に配合される。果実は乾燥させたり、菓子材料として食用にされる。材は硬く、使い込むことで色艶が増す事から、高級工芸品に使われている。



・花期：4～5月

備考

落葉高木。ヨーロッパ南部、アジア西南部に分布する。日本への渡来は奈良時代以前とされている。和名は夏に入って芽が出ること（夏芽）に由来する。母種はサネブトナツメであり、成熟種子（酸棗仁 サンソウニン）を用い、効能・用途が異なる。両性花。